

HSBC ブラジル債券 オープン(毎月決算型)

◎当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2008年9月30日～2023年9月25日	
運用方針	ブラジル債券マザーファンド受益証券への投資を通じて、主にブラジル連邦共和国（「ブラジル」）の債券等に投資することにより、安定したインカムゲインの確保とともに、信託財産の中長期的な成長を目指します。	
主要運用対象	HSBC ブラジル債券オープン(毎月決算型)	ブラジル債券マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	ブラジル債券マザーファンド	主にブラジルの政府、政府機関もしくは企業等が発行する現地通貨建債券に投資します。
組入制限	HSBC ブラジル債券オープン(毎月決算型)	株式への投資は、転換社債の転換および新株予約権の行使等により取得したものに限るものとし、株式への実質投資割合は信託財産の純資産総額の10%以内とします。外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	ブラジル債券マザーファンド	株式への投資は、転換社債の転換および新株予約権の行使等により取得したものに限るものとし、株式への投資は信託財産の純資産総額の10%以内とします。外貨建資産への投資には制限を設けません。
分配方針	年12回の決算時（毎月25日、休業日の場合は翌営業日）に、原則として以下の方針に基づき、分配を行います。 ①分配対象額は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益（評価益を含みません。）等の全額とします。 ②分配金額は、委託者が基準価額水準・市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には、分配を行わないことがあります。 ③留保益の運用については特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

運用報告書（全体版）

第157期	（決算日	2021年10月25日）
第158期	（決算日	2021年11月25日）
第159期	（決算日	2021年12月27日）
第160期	（決算日	2022年1月25日）
第161期	（決算日	2022年2月25日）
第162期	（決算日	2022年3月25日）

◎受益者の皆さまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「HSBC ブラジル債券オープン（毎月決算型）」は、2022年3月25日に第162期の決算を行いましたので、第157期～第162期の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

HSBCアセットマネジメント株式会社

東京都中央区日本橋3-11-1 HSBCビルディング

《お問い合わせ先（投信営業本部）》

電話番号：03-3548-5690

（営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ：www.assetmanagement.hsbc.co.jp



○最近30期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価額			債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 騰 落					
	円		円		%		%		百万円
133期(2019年10月25日)	4,466		30		6.9		97.5		24,550
134期(2019年11月25日)	4,249		30	△	4.2		96.8		23,363
135期(2019年12月25日)	4,360		30		3.3		96.0		23,947
136期(2020年1月27日)	4,269		30	△	1.4		99.0		23,329
137期(2020年2月25日)	4,155		25	△	2.1		99.1		22,558
138期(2020年3月25日)	3,352		25	△	18.7		98.0		17,999
139期(2020年4月27日)	3,045		15	△	8.7		97.6		16,278
140期(2020年5月25日)	3,173		15		4.7		97.0		16,781
141期(2020年6月25日)	3,297		15		4.4		96.5		17,176
142期(2020年7月27日)	3,364		15		2.5		98.6		17,181
143期(2020年8月25日)	3,116		15	△	6.9		98.9		15,641
144期(2020年9月25日)	3,118		15		0.5		98.2		15,391
145期(2020年10月26日)	2,981		15	△	3.9		97.5		14,556
146期(2020年11月25日)	3,080		15		3.8		97.6		14,790
147期(2020年12月25日)	3,236		15		5.6		96.7		15,149
148期(2021年1月25日)	3,010		15	△	6.5		97.7		13,963
149期(2021年2月25日)	3,065		15		2.3		98.4		14,030
150期(2021年3月25日)	2,928		15	△	4.0		98.4		13,249
151期(2021年4月26日)	3,013		15		3.4		97.4		13,419
152期(2021年5月25日)	3,084		15		2.9		97.0		13,527
153期(2021年6月25日)	3,415		15		11.2		96.6		14,720
154期(2021年7月26日)	3,200		15	△	5.9		97.4		13,643
155期(2021年8月25日)	3,061		15	△	3.9		98.1		12,953
156期(2021年9月27日)	3,012		15	△	1.1		97.9		12,564
157期(2021年10月25日)	2,828		15	△	5.6		97.3		11,651
158期(2021年11月25日)	2,878		15		2.3		96.0		11,555
159期(2021年12月27日)	2,886		15		0.8		96.3		11,196
160期(2022年1月25日)	2,947		15		2.6		99.6		11,305
161期(2022年2月25日)	3,201		15		9.1		98.8		12,134
162期(2022年3月25日)	3,569		15		12.0		98.0		13,354

(注) 基準価額の期中騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは、動向きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率
第157期	(期 首) 2021年9月27日	円 3,012		% —	% 97.9		% —
	9月末	2,992	△	0.7	98.0		—
	(期 末) 2021年10月25日	2,843	△	5.6	97.3		—
第158期	(期 首) 2021年10月25日	2,828		—	97.3		—
	10月末	2,780	△	1.7	97.1		—
	(期 末) 2021年11月25日	2,893		2.3	96.0		—
第159期	(期 首) 2021年11月25日	2,878		—	96.0		—
	11月末	2,851	△	0.9	96.6		—
	(期 末) 2021年12月27日	2,901		0.8	96.3		—
第160期	(期 首) 2021年12月27日	2,886		—	96.3		—
	12月末	2,884	△	0.1	96.1		—
	(期 末) 2022年1月25日	2,962		2.6	99.6		—
第161期	(期 首) 2022年1月25日	2,947		—	99.6		—
	1月末	3,038		3.1	99.1		—
	(期 末) 2022年2月25日	3,216		9.1	98.8		—
第162期	(期 首) 2022年2月25日	3,201		—	98.8		—
	2月末	3,180	△	0.7	98.3		—
	(期 末) 2022年3月25日	3,584		12.0	98.0		—

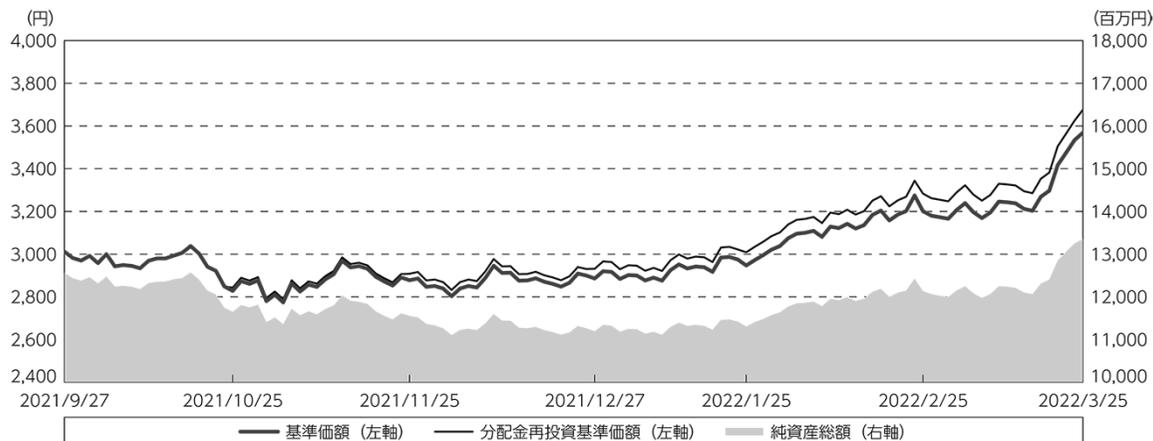
(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○ 当作成期の運用状況と今後の運用方針

基準価額等の推移について（第157期～第162期：2021年9月28日～2022年3月25日）



第157期首：3,012円

第162期末：3,569円（既払分配金（税込み）：90円）

騰落率：22.1%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首（2021年9月27日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

基準価額の主な変動要因

< 上昇要因 >

組入銘柄の利子収入が基準価額にプラスに寄与しました。また、ブラジルリアルが対円で上昇したことが、プラスに働きました。

< 下落要因 >

組入銘柄の価格下落（利回り上昇）が基準価額にマイナスに寄与しました。

投資環境について

【債券市況】

当作成期のブラジル債券市場は前作成期末比で下落（利回りは上昇）しました。債券市場は、作成期初から2021年10月中旬までは方向感に欠ける動きとなったのち、インフレ率の上昇が加速したことなどから11月初旬にかけて下落（利回りは上昇）傾向となりました。その後、中央銀行が利上げを通じてインフレ抑制に向けて強い姿勢を示したことが市場で好感され、11月下旬から12月中旬にかけて債券市場は上昇（利回りは低下）傾向となりました。2022年2月下旬まで一定範囲内で推移したのち、高水準にあるインフレ率が市場で嫌気され、3月中旬にかけて債券市場は下落（利回りは上昇）傾向となりました。作成期末にかけては、中央銀行が急速な金融引き締めを5月に終了させる方針を示したことなどから、債券市場は上昇（利回りは低下）しました。

【為替相場】

当作成期のブラジルレアルは円に対して前作成期末比で上昇しました。作成期初から2022年1月中旬までは方向感に欠ける動きとなりました。その後、作成期末にかけて、ブラジルレアルは対円で上昇傾向となりました。中央銀行による積極的な利上げ、日米金利差の急拡大などに伴う急速な米ドル高・円安進行の流れを受けたことなどが、ブラジルレアルの対円での上昇要因となりました。

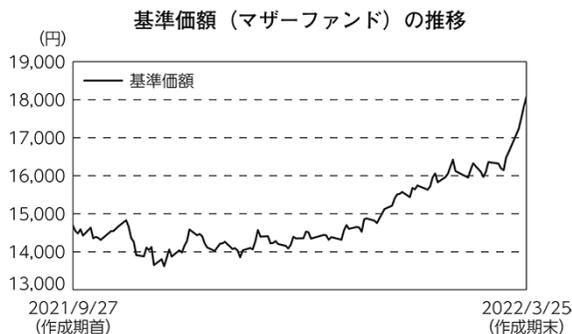
ポートフォリオについて

<HSBC ブラジル債券オープン（毎月決算型）>

「ブラジル債券マザーファンド」への投資を通じて、主にブラジルの債券等に投資しました。

<ブラジル債券マザーファンド>

残存期間1～5年を中心としたブラジル国債に投資しました。債券種類別には、割引国債の組入比率を22～28%程度、固定利付債は72～78%程度としました。また、キャッシュ比率は0.1～0.7%程度に維持しました。



ベンチマークとの差異について

当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

分配金について

第157期から第162期における分配金は、基準価額の水準・市況動向等を勘案し、いずれも15円（1万口当たり・税込み）とさせていただきます。

なお、留保益の運用につきましては特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第157期	第158期	第159期	第160期	第161期	第162期
	2021年9月28日～ 2021年10月25日	2021年10月26日～ 2021年11月25日	2021年11月26日～ 2021年12月27日	2021年12月28日～ 2022年1月25日	2022年1月26日～ 2022年2月25日	2022年2月26日～ 2022年3月25日
当期分配金 (対基準価額比率)	15 0.528%	15 0.518%	15 0.517%	15 0.506%	15 0.466%	15 0.419%
当期の収益	15	15	15	15	15	15
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	198	204	210	213	227	239

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

中央銀行は当面、物価重視の姿勢を維持すると考えられ、これはブラジル債券市場にとり支援材料と思われる。但し、2022年10月にはブラジルの大統領選挙が控える中、政治情勢の行方には留意が必要と思われます。

ブラジル債券市場は中長期的に有望な投資対象との当社の見方に変わりはありません。債券利回りは相対的に高い水準にあります。また、今後、新型コロナウイルスの感染拡大が収束し、国内の経済活動の正常化が進めば、力強い景気回復が見込まれ、これが債券市場にとり中長期的にプラスに働くと考えられます。

<HSBC ブラジル債券オープン（毎月決算型）>

「ブラジル債券マザーファンド」への投資を通じて、主にブラジルの債券等に投資することにより、安定したインカムゲインの確保とともに、信託財産の中長期的な成長を目指します。

<ブラジル債券マザーファンド>

相対的に利回りが高水準にあるブラジル国債への投資を通じて安定的な投資収益の確保を目指します。債券ポートフォリオでは、引き続き中期債の組入比率を高め維持しています。

金融取引税について

当ファンドにはブラジル政府による金融取引税（IOF）の課税対象となる取引が含まれています。ここでいう金融取引税は日本を含む海外の投資家がブラジル国内のブラジルレアル建債券を購入するために、外貨（日本円、米ドル等）からブラジルレアルに交換する際の「為替取引」に対して課される税金のことです。

ただし、債券を購入するための為替取引に対しては当作成期末現在の課税は0%です。一方、債券の売買、ブラジルレアルから外貨（日本円、米ドル等）への為替取引は一部例外を除き課税されません。

当ファンドを保有される期間中、金融取引税が課税される場合は、受益者の皆さま個人に直接的に課税されるのではなく、投資信託の信託財産に課税されるため、間接的にご負担いただきます。信託財産が増加する場合（投資信託の購入金額の総額が換金金額の総額を上回った場合）、信託財産の増加分をもって、原則、新たにブラジルレアル建ての債券を購入いたします。その際のが為替取引に課税されます。信託財産が減少する場合（投資信託の換金金額の総額が購入金額の総額を上回った場合）は新たに債券を購入しないので、一部例外を除き課税されません。そのため、通常受益者の皆さまの実質的な金融取引税の負担額は、金融取引税（IOF）の課税率とは異なります。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2021年9月28日～2022年3月25日)

項 目	第157期～第162期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 25	% 0.836	(a) 信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(13)	(0.432)	委託した資金の運用の対価（運用委託先への報酬が含まれます。）
（ 販 売 会 社 ）	(11)	(0.378)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(1)	(0.027)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	3	0.098	(b) その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(2)	(0.082)	海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.003)	監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
（ そ の 他 ）	(1)	(0.013)	振替制度にかかる費用、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出にかかる費用等
合 計	28	0.934	
作成期中の平均基準価額は、2,954円です。			

(注) 作成期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

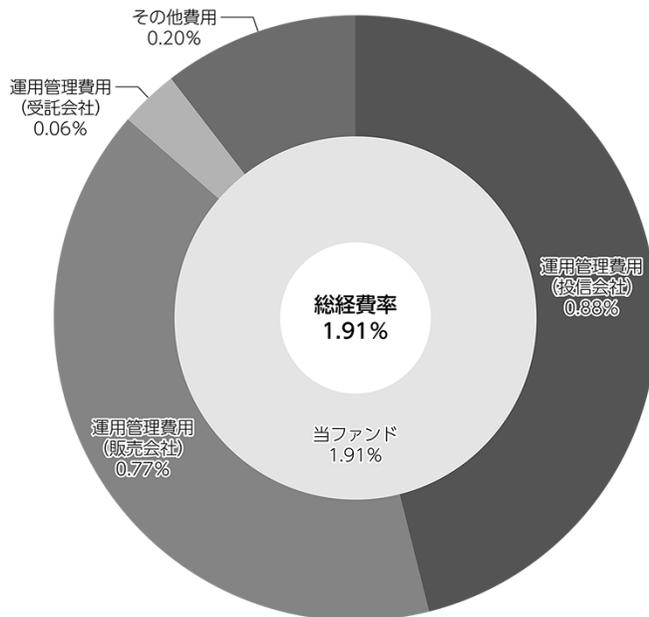
(注) その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.91%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2021年9月28日～2022年3月25日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	第157期～第162期			
	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
ブラジル債券マザーファンド	千口 145,187	千円 211,528	千口 1,327,135	千円 1,944,812

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2021年9月28日～2022年3月25日)

利害関係人との取引状況

<HSBC ブラジル債券オープン（毎月決算型）>

該当事項はございません。

<ブラジル債券マザーファンド>

区分	第157期～第162期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 2,449	百万円 —	% —	百万円 4,182	百万円 201	% 4.8

平均保有割合 98.6%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該子ファンドの親投資信託所有口数の割合。

(注) 単位未満は切捨て。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは、ザ・ホンコン・アンド・シャンハイ・バンキング・コーポレーション・リミテッド（東京）です。

○組入資産の明細

(2022年3月25日現在)

親投資信託残高

銘柄	第156期末	第162期末	
	口数	口数	評価額
ブラジル債券マザーファンド	千口 8,613,000	千口 7,431,052	千円 13,428,654

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2022年3月25日現在)

項 目	第162期末	
	評 価 額	比 率
ブラジル債券マザーファンド	千円 13,428,654	% 99.5
コール・ローン等、その他	69,747	0.5
投資信託財産総額	13,498,401	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) ブラジル債券マザーファンドにおいて、作成期末における外貨建純資産(13,598,110千円)の投資信託財産総額(13,677,794千円)に対する比率は99.4%です。

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは1米ドル=122.07円、1ブラジルレアル=25.2854円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第157期末	第158期末	第159期末	第160期末	第161期末	第162期末
	2021年10月25日現在	2021年11月25日現在	2021年12月27日現在	2022年1月25日現在	2022年2月25日現在	2022年3月25日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	11,775,500,241	11,663,667,815	11,327,751,901	11,397,489,855	12,236,278,706	13,498,401,147
ブラジル債券マザーファンド(評価額)	11,729,994,894	11,633,835,040	11,273,538,422	11,381,472,162	12,212,604,094	13,428,654,945
未収入金	45,505,347	29,832,775	54,213,479	16,017,693	23,674,612	69,746,202
(B) 負債	124,072,618	108,383,803	131,513,156	91,710,756	101,370,389	143,877,117
未払収益分配金	61,804,957	60,224,435	58,188,906	57,547,060	56,868,116	56,126,895
未払解約金	45,505,347	29,832,775	54,213,479	16,017,693	23,674,612	69,746,202
未払信託報酬	16,056,047	16,877,904	16,917,903	15,280,962	17,205,778	16,066,738
その他未払費用	706,267	1,448,689	2,192,868	2,865,041	3,621,883	1,937,282
(C) 純資産総額(A-B)	11,651,427,623	11,555,284,012	11,196,238,745	11,305,779,099	12,134,908,317	13,354,524,030
元本	41,203,305,285	40,149,623,515	38,792,604,303	38,364,707,226	37,912,077,407	37,417,930,387
次期繰越損益金	△29,551,877,662	△28,594,339,503	△27,596,365,558	△27,058,928,127	△25,777,169,090	△24,063,406,357
(D) 受益権総口数	41,203,305,285口	40,149,623,515口	38,792,604,303口	38,364,707,226口	37,912,077,407口	37,417,930,387口
1万口当たり基準価額(C/D)	2,828円	2,878円	2,886円	2,947円	3,201円	3,569円

(注) 当ファンドの第157期首元本額は41,719,989,882円、第157～162期中追加設定元本額は719,603,915円、第157～162期中一部解約元本額は5,021,663,410円です。

(注) また、1口当たり純資産額は、第157期0.2828円、第158期0.2878円、第159期0.2886円、第160期0.2947円、第161期0.3201円、第162期0.3569円です。

(注) 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

○損益の状況

項 目	第157期	第158期	第159期	第160期	第161期	第162期
	2021年9月28日～ 2021年10月25日	2021年10月26日～ 2021年11月25日	2021年11月26日～ 2021年12月27日	2021年12月28日～ 2022年1月25日	2022年1月26日～ 2022年2月25日	2022年2月26日～ 2022年3月25日
	円	円	円	円	円	円
(A) 有価証券売買損益	△ 678,585,676	278,763,824	106,321,010	306,172,110	1,036,617,585	1,447,889,312
売買益	3,557,237	286,933,183	117,347,816	310,247,752	1,045,049,691	1,457,855,794
売買損	△ 682,142,913	△ 8,169,359	△ 11,026,806	△ 4,075,642	△ 8,432,106	△ 9,966,482
(B) 信託報酬等	△ 16,762,314	△ 17,620,326	△ 17,662,082	△ 15,953,135	△ 17,962,620	△ 14,382,137
(C) 当期損益金(A+B)	△ 695,347,990	261,143,498	88,658,928	290,218,975	1,018,654,965	1,433,507,175
(D) 前期繰越損益金	△ 9,985,165,139	△10,425,470,744	△ 9,849,716,955	△ 9,688,680,872	△ 9,319,819,770	△ 8,231,290,965
(E) 追加信託差損益金	△18,809,559,576	△18,369,787,822	△17,777,118,625	△17,602,919,170	△17,419,136,169	△17,209,495,672
(配当等相当額)	(498,147,436)	(486,828,006)	(471,448,847)	(467,123,073)	(462,561,715)	(457,475,474)
(売買損益相当額)	(△19,307,707,012)	(△18,856,615,828)	(△18,248,567,472)	(△18,070,042,243)	(△17,881,697,884)	(△17,666,971,146)
(F) 計(C+D+E)	△29,490,072,705	△28,534,115,068	△27,538,176,652	△27,001,381,067	△25,720,300,974	△24,007,279,462
(G) 収益分配金	△ 61,804,957	△ 60,224,435	△ 58,188,906	△ 57,547,060	△ 56,868,116	△ 56,126,895
次期繰越損益金(F+G)	△29,551,877,662	△28,594,339,503	△27,596,365,558	△27,058,928,127	△25,777,169,090	△24,063,406,357
追加信託差損益金	△18,809,559,576	△18,369,787,822	△17,777,118,625	△17,602,919,170	△17,419,136,169	△17,209,495,672
(配当等相当額)	(498,346,096)	(486,981,829)	(471,551,540)	(467,167,949)	(462,668,556)	(457,543,557)
(売買損益相当額)	(△19,307,905,672)	(△18,856,769,651)	(△18,248,670,165)	(△18,070,087,119)	(△17,881,804,725)	(△17,667,039,229)
分配準備積立金	317,608,907	335,866,925	345,780,748	350,548,460	400,710,397	439,567,656
繰越損益金	△11,059,926,993	△10,560,418,606	△10,165,027,681	△ 9,806,557,417	△ 8,758,743,318	△ 7,293,478,341

(注) (A) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (B) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (E) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 第157期計算期間末における費用控除後の配当等収益(66,209,015円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(498,346,096円)および分配準備積立金(313,204,849円)より分配対象収益は877,759,960円(10,000口当たり213円)であり、うち61,804,957円(10,000口当たり15円)を分配金額としております。

(注) 第158期計算期間末における費用控除後の配当等収益(87,151,130円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(486,981,829円)および分配準備積立金(308,940,230円)より分配対象収益は883,073,189円(10,000口当たり219円)であり、うち60,224,435円(10,000口当たり15円)を分配金額としております。

(注) 第159期計算期間末における費用控除後の配当等収益(79,309,043円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(471,551,540円)および分配準備積立金(324,660,611円)より分配対象収益は875,521,194円(10,000口当たり225円)であり、うち58,188,906円(10,000口当たり15円)を分配金額としております。

(注) 第160期計算期間末における費用控除後の配当等収益(66,595,672円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(467,167,949円)および分配準備積立金(341,499,848円)より分配対象収益は875,263,469円(10,000口当たり228円)であり、うち57,547,060円(10,000口当たり15円)を分配金額としております。

(注) 第161期計算期間末における費用控除後の配当等収益(111,863,542円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(462,668,556円)および分配準備積立金(345,714,971円)より分配対象収益は920,247,069円(10,000口当たり242円)であり、うち56,868,116円(10,000口当たり15円)を分配金額としております。

(注) 第162期計算期間末における費用控除後の配当等収益(100,700,092円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(457,543,557円)および分配準備積立金(394,994,459円)より分配対象収益は953,238,108円(10,000口当たり254円)であり、うち56,126,895円(10,000口当たり15円)を分配金額としております。

(注) 親投資信託の投資信託財産の運用指図に係る権限を委託するために要する費用として、委託者報酬の中から支弁した額は、14,428,820円です。

○分配金のお知らせ

	第157期	第158期	第159期	第160期	第161期	第162期
1万円当たり分配金(税込み)	15円	15円	15円	15円	15円	15円

◇分配金をお支払いする場合：原則として決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始いたします。

◇分配金を再投資する場合：決算日現在の基準価額に基づいて、税金を差し引いた後、皆さまの口座に繰り入れて再投資いたします。

◇分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金(特別分配金)」に分かれます。

普通分配金 … 分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額普通分配金となります。

元本払戻金 … 分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分に相当する金額が元本払戻金(特別分配金)となり、残りの部分(特別分配金)は普通分配金となります。元本払戻金(特別分配金)が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金(特別分配金)を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

○お知らせ

商号変更について

HSBC投信株式会社は、2021年11月1日付けで、商号を「HSBCアセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。

<ブラジル債券マザーファンド>

下記は、ブラジル債券マザーファンド全体(7,523,821千口)の内容です。

外国公社債

(A)外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	第162期末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
ブラジル	千ブラジルレアル 569,510	千ブラジルレアル 524,043	千円 13,250,645	% 97.5	% 97.5	% 16.4	% 27.6	% 53.5
合 計	569,510	524,043	13,250,645	97.5	97.5	16.4	27.6	53.5

(注) 邦貨換算金額は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、当ファンドが組み入れている親投資信託の純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 単位未満は切捨て。

(注) 評価額については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しております。

(注) BB格以下組入比率は、S&Pグローバル・レーティングの格付に基づいております。なお、BB格とはBB+、BB、BB-を指します。

(B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	第162期末						
	利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日		
			外貨建金額	邦貨換算金額			
ブラジル	%	千ブラジルレアル	千ブラジルレアル	千円			
国債証券	LTN 01/01/2024	—	80,470	65,518	1,656,666	2024/1/1	
	LTN 07/01/2023	—	94,300	80,945	2,046,746	2023/7/1	
	NTN-F 10% 01/01/2023	10.0	144,080	141,247	3,571,489	2023/1/1	
	NTN-F 10% 01/01/2025	10.0	121,760	117,009	2,958,628	2025/1/1	
	NTN-F 10% 01/01/2027	10.0	33,200	31,368	793,177	2027/1/1	
	NTN-F 10% 01/01/2029	10.0	78,800	72,674	1,837,611	2029/1/1	
	NTN-F 10% 01/01/2031	10.0	16,900	15,278	386,325	2031/1/1	
合 計					13,250,645		

(注) 邦貨換算金額は、作成期末現在の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面金額・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 評価額については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しております。

◆親投資信託「ブラジル債券マザーファンド」の運用状況
第13期（2020年9月19日～2021年9月21日）

◎当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	主にブラジルの債券等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。
主要運用対象	主にブラジルの政府、政府機関もしくは企業等が発行する現地通貨建債券に投資します。
組入制限	株式への投資は、転換社債の転換および新株予約権の行使等により取得したものに限り、株式への投資は信託財産の純資産総額の10%以内とします。外貨建資産への投資には制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額	騰落率		債組入比率	債券先物比率	純資産総額
		期騰	落中率			
9期(2017年9月19日)	円 18,856		% 36.3	% 97.7	% —	百万円 43,688
10期(2018年9月18日)	15,044		△20.2	96.4	—	27,009
11期(2019年9月18日)	17,951		19.3	97.4	—	24,320
12期(2020年9月18日)	14,759		△17.8	97.6	—	16,404
13期(2021年9月21日)	14,500		△ 1.8	97.5	—	12,685

(注) 当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

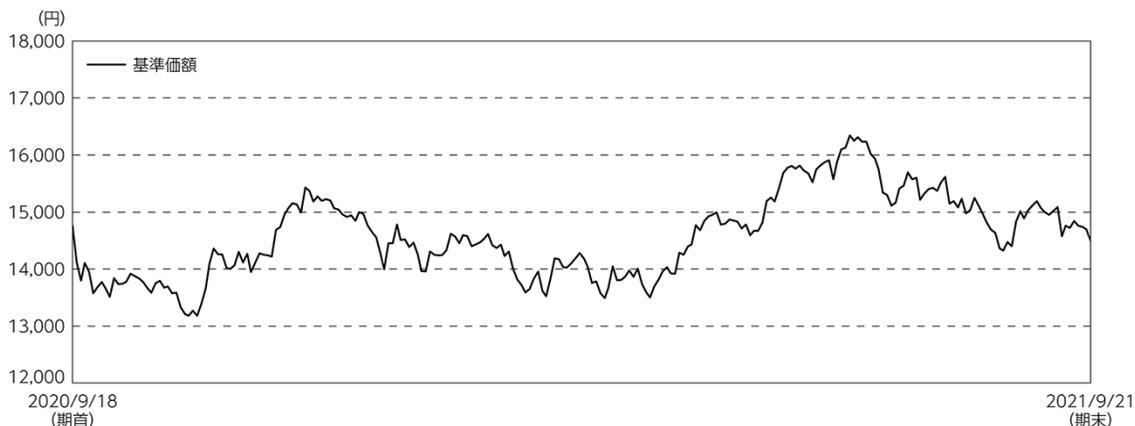
年	月	日	基 準	価 額		債 組	入 比	券 率	債 先	物 比	券 率
				騰 落	率						
	(期 首)		円		%			%			%
	2020年	9月18日	14,759		—			97.6			—
	9月	末	13,683	△	7.3			98.2			—
	10月	末	13,182	△	10.7			97.7			—
	11月	末	14,242	△	3.5			97.5			—
	12月	末	14,997		1.6			96.6			—
	2021年	1月	14,242	△	3.5			97.7			—
	2月	末	14,003	△	5.1			98.4			—
	3月	末	13,675	△	7.3			97.8			—
	4月	末	14,770		0.1			97.5			—
	5月	末	15,251		3.3			97.1			—
	6月	末	16,233		10.0			96.3			—
	7月	末	15,617		5.8			97.3			—
	8月	末	15,117		2.4			98.3			—
	(期 末)										
	2021年	9月21日	14,500	△	1.8			97.5			—

(注) 騰落率は期首比です。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期の運用状況と今後の運用方針

基準価額等の推移について（第13期：2020年9月19日～2021年9月21日）



基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

組入銘柄の利子収入が基準価額にプラスに寄与しました。また、ブラジルレアルが対円で上昇したことが、プラスに働きました。

<下落要因>

組入銘柄の価格下落（利回り上昇）が基準価額にマイナスに寄与しました。

投資環境について

【債券市況】

ブラジル債券市場は、期初から2020年末までは一進一退の方向感の乏しい動きとなりました。ブラジル中央銀行による金融緩和がプラス要因となる一方、新型コロナウイルス対策のための歳出増に伴う財政赤字の拡大懸念などがマイナス要因となりました。2021年1月から期末にかけては、債券市場は下落（利回りは上昇）基調をたどりました。通貨安と資源価格の上昇を背景にインフレ率が上昇する中で、中央銀行が3月以降、連続して利上げを実施したことがマイナス要因となりました。

【為替相場】

ブラジルレアルは対円で、期初から2021年6月下旬までは上昇基調をたどりました。原油・資源価格の上昇、3月からは中央銀行の利上げへの転換もブラジルレアルにとり上昇要因となりました。円安・米ドル高の進行もブラジルレアルの対円相場の上昇を促しました。その後、期末にかけては、軟調な展開となりました。財政悪化懸念に加えて、ボルソナロ大統領の支持率低迷による政治不安もブラジルレアルにとりマイナス要因となりました。

ポートフォリオについて

残存期間1～5年を中心としたブラジル国債に投資しました。債券種類別には、割引国債の組入比率を21～32%程度、固定利付債は68～78%程度としました。また、キャッシュ比率は0.1～2.2%程度に維持しました。

今後の運用方針

ブラジル債券市場では、当面は、インフレ圧力の高まりと中央銀行による一段の金融引き締めが相場の重しとなることが見込まれます。一方、新型コロナウイルスの世界および国内の感染状況を巡る不確実性が引き続き不安要素となる一方、ワクチン普及への期待が支援要因となると見られます。ブラジルでは大規模なワクチン接種プログラムが進んでいるものの、感染はなお収束しておらず、変異株の拡散が報告されています。当社ではこの動きを注視していきます。また、新型コロナウイルスへの対応に対する批判が高まる中で、ボルソナロ大統領の支持率が低下しており、政治情勢も懸念要因として注視していきます。

ブラジル債券市場は中長期的に有望な投資対象との当社の見方に変わりはありません。債券利回りは相対的に高い水準にあります。さらに政府の進める経済構造改革も、長期的には財政収支を改善させ、経済成長ポテンシャルを高めるものであり、ブラジル債券市場にとり追い風となると見込まれます。

相対的に利回りが高水準にあるブラジル国債への投資を通じて安定的な投資収益の確保を目指します。債券ポートフォリオでは、引き続き中期債の組入比率を高めに維持しています。

○1万口当たりの費用明細

(2020年9月19日～2021年9月21日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	円 23 (23)	% 0.159 (0.159)	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
合 計	23	0.159	
期中の平均基準価額は、14,584円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2020年9月19日～2021年9月21日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	ブラジル	国債証券	千ブラジルリアル 109,161	千ブラジルリアル 231,630

(注) 金額は受渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2020年9月19日～2021年9月21日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 3,427	百万円 —	% —	百万円 6,912	百万円 330	% 4.8

(注) 単位未満は切捨て。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは、ザ・ホンコン・アンド・シャンハイ・バンキング・コーポレーション・リミテッド(東京)です。

○組入資産の明細

(2021年9月21日現在)

外国公社債

(A)外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千ブラジルレアル	千ブラジルレアル	千円	%	%	%	%	%
ブラジル	632,610	601,215	12,363,044	97.5	97.5	22.5	29.6	45.3
合 計	632,610	601,215	12,363,044	97.5	97.5	22.5	29.6	45.3

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 単位未満は切捨て。

(注) 評価額については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しております。

(注) BB格以下組入比率は、S&Pグローバル・レーティングの格付に基づいております。なお、BB格とはBB+、BB、BB-を指します。

(B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期 末						
	利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日		
			外貨建金額	邦貨換算金額			
ブラジル	%	千ブラジルレアル	千円				
国債証券	LTN 01/01/2024	—	53,470	43,161	887,547	2024/1/1	
	LTN 07/01/2022	—	500	469	9,651	2022/7/1	
	LTN 07/01/2023	—	120,700	102,628	2,110,384	2023/7/1	
	NTN-F 10% 01/01/2023	10.0	174,880	176,520	3,629,861	2023/1/1	
	NTN-F 10% 01/01/2025	10.0	140,260	139,716	2,873,040	2025/1/1	
	NTN-F 10% 01/01/2027	10.0	87,100	85,288	1,753,816	2027/1/1	
	NTN-F 10% 01/01/2029	10.0	48,800	46,932	965,096	2029/1/1	
	NTN-F 10% 01/01/2031	10.0	6,900	6,499	133,644	2031/1/1	
合 計					12,363,044		

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面金額・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 評価額については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しております。

○投資信託財産の構成

(2021年9月21日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	12,363,044	97.3
コール・ローン等、その他	348,826	2.7
投資信託財産総額	12,711,870	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) 期末における外貨建純資産(12,682,604千円)の投資信託財産総額(12,711,870千円)に対する比率は99.8%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは1米ドル=109.57円、1ブラジルレアル=20.5634円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2021年9月21日現在)

項 目	当 期 末	円
(A) 資産	12,733,784,207	
コール・ローン等	95,418,606	
公社債(評価額)	12,363,044,776	
未収入金	62,841,329	
未収利息	212,479,496	
(B) 負債	48,120,222	
未払金	21,913,740	
未払解約金	26,206,406	
未払利息	76	
(C) 純資産総額(A-B)	12,685,663,985	
元本	8,748,843,965	
次期繰越損益金	3,936,820,020	
(D) 受益権総口数	8,748,843,965口	
1万口当たり基準価額(C/D)	14,500円	

(注) 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

〈注記事項〉

※期首元本額	11,114,928,901円
期中追加設定元本額	494,643,335円
期中一部解約元本額	2,860,728,271円

※当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末保有元本額	
H S B C ブラジル債券オープン(毎月決算型)	8,628,050,307円
H S B C ブラジル債券オープン(1年決算型)	120,793,658円

○損益の状況 (2020年9月19日～2021年9月21日)

項 目	当 期	円
(A) 配当等収益	1,163,095,020	
受取利息	1,163,129,243	
支払利息	△ 34,223	
(B) 有価証券売買損益	△1,419,066,578	
売買益	445,345,464	
売買損	△1,864,412,042	
(C) 保管費用等	△ 22,771,975	
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 278,743,533	
(E) 前期繰越損益金	5,290,044,434	
(F) 追加信託差損益金	222,215,706	
(G) 解約差損益金	△1,296,696,587	
(H) 計(D+E+F+G)	3,936,820,020	
次期繰越損益金(H)	3,936,820,020	

(注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
(注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
(注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

商号変更について

H S B C投信株式会社は、2021年11月1日付けで、商号を「H S B Cアセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。